

## 第24回寒地土木研究所講演会を開催しました

寒地技術推進室

平成22年11月12日(金)、かでの2.7(札幌市)で独立行政法人土木研究所第24回寒地土木研究所講演会を開催しました。当日は400名近い方々にご来場をいただきました。

本講演会は、当研究所の研究成果や寒地土木技術に関連するトピック等を多くの方々に紹介するため昭和61年から行っており、今回で24回を数えます。

特別講演では、水環境工学、都市水工学を専門とし、北海道大学総長をはじめ各学会等で多くの要職を歴任されている、地方独立行政法人北海道立総合研究機構丹保憲仁理事長をお招きして、「環境の時代？」と題し、ご講演をいただきました。丹保理事長は「近代の大成長によって地球が相対的に縮小(過密化)し、その構造的帰結として文明の大都市化が地球規模で起こっている(グローバリゼーション)。それに伴う様々な歪みによって近代は終焉に向かい、新時代を模索していくことになる。」と提起し、「近代の後期、すなわち環境制約の時代を迎え、我が国が文明の最先端にあることを自覚すれば、世界の最先端で後近代へ向かう地域として、新しい価値観による新文明を創造することができるだろう。」と、来たるべき時代を見据えて鋭く分析されました。

一般講演では、寒地構造チーム西弘明上席研究員より「雪寒環境下の道路構造物に関する技術開発」、雪氷チーム松澤勝上席研究員より「道路の吹雪災害対策と研究の歩み」、つくば中央研究所火山・土石流チーム石塚忠範上席研究員より「最近の土砂災害を巡る状況について」、二宮嘉朗技術開発調整監より「寒地土木研究所の普及技術について」と題し、それぞれ講演を行いました。

また、かでの2.7内で行われた「寒地土木研究所パネル展」では各研究チームの研究成果をパネル、模型、パンフレットなどで展示し、来場者から好評を博しました。

今年もたくさんの皆様のご来場を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

なお、講演会の詳しい内容は平成23年3月に寒地土

木研究所月報講演会特集号として発行する予定です。  
(文責：木津田博文)

### ■主催者挨拶

(独)土木研究所寒地土木研究所長 川村 和幸

### ■特別講演

「環境の時代？」

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

理事長 丹保 憲仁

### ■一般講演

「雪寒環境下の道路構造物に関する技術開発」

寒地構造チーム 上席研究員 西 弘明

「道路の吹雪災害対策と研究の歩み」

雪氷チーム 上席研究員 松澤 勝

「最近の土砂災害をめぐる状況について」

つくば中央研究所 火山・土石流チーム

上席研究員 石塚 忠範

「寒地土木研究所の普及技術について」

技術開発調整監 二宮 嘉朗



丹保理事長の講演の様子